



伴学区社協だより

発行 伴学区社会福祉協議会
住所 〒731-3164 安佐南区伴東7丁目64-8
電話 082-848-3277

「お互いさま」精神で地域共生社会 伴学区エルモ設立総会 14団体で出発

住民主体のまちづくりを進める伴学区エルモの設立総会が二月十七日にあり、伴学区社協や伴学区町内会連合会など十四団体の参加が正式に決まりました。エルモ会長に伴晴英・伴社協会長、事務局長に山田初則・同事務局長が就任。学区を代表する組織として広島市の広島型地域運営組織ひろしまLMO(エルモ)に二十二番目の認定を同二十日付で受けました。持続可能な地域コミュニティの実現に向けて事業の効率アップ、地域の担い手の発掘につなげます。



エルモ調印式。手前中央が伴会長
(2月17日・いこいの家)

沼田老人いこいの家での設立総会で、各代表が「伴学区の情報や将来像を共有し、防災、防犯、福祉、子育て・教育、環境・美化、交通安全、祭り、スポーツなど地域課題の解

決に一丸で取り組む」など四項目の協定書に調印しました。

事業計画では「地域の歴史・文化の継承」「子育て・教育」「安全・防災」「交流機会の創出」「自然環境の保全」「高齢者福祉」の六つのテーマを目標に据え、関連団体が連携して取り組みます。

事務局は伴東七丁目五六番三九号のフォーブル大原A棟一〇一号室。活動拠点の維持管理・運営費や人件費などは、広島市が助成します。事業計画に基づいた事業費は、伴社協を窓口に一括助成金を受けます。

昨年七月から研修会・設立準備委員会で各団体が垣根を越えて議論しました。市内百四十一学区のうち二月末現在、二十七学区がLMOに認定されています。
(各団体の活動を二面掲載)

伴学区社協 伴晴英会長

伴社協は、福祉の三本柱(サロン、見守り活動、ボランティアバンク)を中心に地域共生社会の実現に取り組んできました。困った時は「お互いさま」と声を掛け合い、近隣で支え合えるコミュニティ

くりです。この理念を地域全体で共有し、活動に弾みをつけたいと思います。幅広い福祉の実現、新たな地域の課題の解決、みんなが住み良い伴づくりに向けて十四団体が一つになって取り組む土俵が整いました。ふだんの生活の中、みなさんの自発的な参加も期待します。

エルモの理念

エルモはLocal Management Organization(地域運営組織)の略です。赤ヘルの全員野球、サンフレッチェ広島の本物の矢の教訓のように自分たちが住む地域を大切に思う、みんなの願いを束ねて大きな推進力を生み出します。

住民組織の担い手不足や高齢化が懸念される中、将来にわたって持続するコミュニティ実現のために参加・連携・交流を合言葉にスクラムを組みます。SMSを活用した提案や活動の伝達、人材確保など情報の共有・発信のネットワーク構築も検討課題です。

(広報部会部長 圓山文雄)

あんぜん・あんしん

防災町民運動会 4月21日午前9時 伴小で開催



平成十六年に発足し、児童館行事サポーターやオープンスペースなど地域の子どもたちと共に遊び心を持って楽しんでいきます。「伴の子はみんな我が子」を合言葉に笑顔いっぱい活動を目指します。
(矢野文恵会長)

伴っ子クラブ

まちづくりワークショップから生まれ、太田川学園の利用者作品展、沼田高校美術部作品展、三城田神楽団創作神楽の支援。発表の場づくりで交流機会の創出に加え、郷土の歴史継承に取り組めます。(秋野征治代表理事)

アートな伴クラブ

安佐南工場の公害監視委員及び西風館運営監視委員を市から委託されています。三月に安佐南工場でエコひろばを開催。広島市や各団体、企業等と力を合わせた楽しい環境学習のイベントです。
(竹元孝明会長 伴学区エルモ副会長)

広島市安佐南工場及び西風館周辺地区五町内会連絡協議会

伴学区民生委員児童委員協議会

子どもからお年寄りまで地域の福祉の見守り役として相談支援活動▽地域福祉活動▽関係機関団体と連携▽仲間同士の情報交換や研修をしています。「あなたの近くに私たちがいます」を合言葉に地域に根ざして活動を続けたいと思います。
(宮本博子会長)

地域を思い 行動する 勇気と喜び

伴学区町内会連合会

伴学区の情報・将来像の共有、地域課題の解決に十四団体が連携する態勢が強化されました。全世代が交流する春の伴学区あんぜん・あんしん防災町民運動会、秋のふるさと祭りは、各団体のみなさんの協力で実現しています。地域の多様な担い手を育てる場でもあります。
四月二十一日の運動会は、令和三年八月の豪雨災害以降、高まる防災意識の醸成を目指し、町民運動会に防災活動の種目を組み合わせました。今年は、子どもが楽しめる内容を充実、大勢の参加をお待ちしています。
(加藤栄治会長 伴学区エルモ副会長)

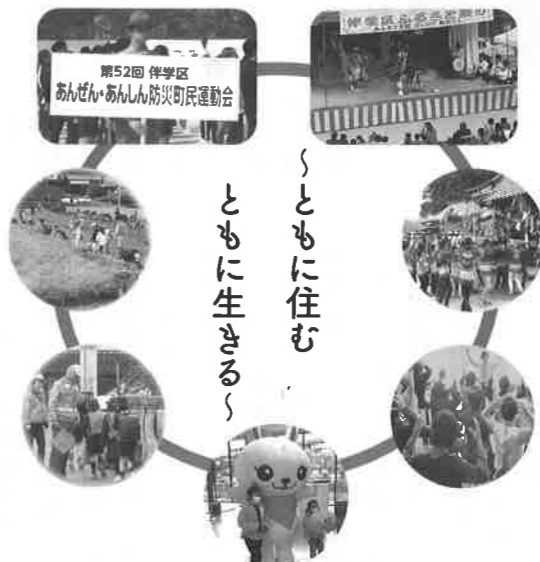
伴学区老人クラブ連合会

声を掛け合い顔が見える元気な伴づくりへ高齢者は立派な担い手です。げんきかいラジオ体操、下校時の児童見守り、アストラム沿線の清掃奉仕にも参加しています。
(西田雅行会長)

伴学区体育協会

「仲間とともに」を合言葉にスポーツを気楽に楽しめるように活動しています。人と人の関係が最近希薄になっていきます。スポーツを通じてたくさんの方との出会い、お互いに助け合える地域づくりの力になればと思います。
(藤井一志会長 伴学区エルモ副会長)

伴学区エルモ



元気な まちづくり 14 団体結集!!

- 社協・町内会・民児協・伴小PTA・女性会
- 体協・五町連・老人クラス・まちづくり協議会
- 公衛協・青少協・伴っ子クラス
- アグリアシスト・アートな伴クラス

伴地域女性会

登下校児童を見守る愛パトロールは、思いやりの心いっぱい！腕章をつけて活動します。子育て支援や老人施設訪問などのボランティア活動、みらいちゃんショップ運営も手伝っています。
(池田美代子会長)

伴学区公衆衛生推進協議会

美化啓発から献血や健康教室まで幅広い活動です。伴小学校の親子ふれあいタイムへの参加を検討します。町内会一斉清掃では子どもへの参加を広げたいと思います。
(日野賢司会長)



芝の上 元気にプレー

伴社協主催のグラウンドゴルフ大会が三月三日、広域公園第一球技場で開かれました。小雪がちらつく中、十町内会の八十人(うち女性二十九人)が、元気にプレーしました。
(高齢者福祉部会部長 西田雅行)
お年寄りの地域参加と長寿健康の願いを込めた主催行事も十二回目を迎えました。十八グループに分かれて二十四ホールで競技。男女の部の一位選手によるニアピン決戦で岡村博昭さん(広陵)が総合優勝しました。



大会運営で体協や老人会、町内会などのご協力をいただき、ありがとうございます。写真は、広島市の地域ポータルサイト「こむね」とひろしま伴学区社会福祉協議会に載せています。
成績は次の通り。(敬称略)

- 【男子】
- ① 岡村博昭(広陵)
- ② 榎敬公(三城田)
- ③ 日野賢司(広陵)
- ④ 宮本友三郎(広陵)
- ⑤ 小瀬戸裕三(細坂)
- 【女子】
- ① 天王あつ江(細坂)
- ② 新本恵子(雲願寺)
- ③ 小瀬戸敏子(細坂)
- ④ 玉野富恵(広陵)
- ⑤ 中村豊子(三城田)

伴地区青少年健全育成協議会

かわいい幼児から成人までの立派な社会人となる大切な時期に関わる青少年協です。園や学校・PTA、各種団体と一緒に活動して地域貢献できればと思っています。
(有馬義憲会長)

伴小学校PTA

PTAは子どもたち、学校、保護者、そして地域の架け橋となります。また、子どもたちが「伴に住み続けたい」と思えるように、地域の皆様とともに学び続けます。
(長山哲也会長)

特定NPO沼田まちづくり協議会

平成十九年設立。西風館喫茶売店事業収益の一部を活用し、地域課題を解決する啓発研修、文化・スポーツ活動助成、生涯学習推進事業、まちづくりイベントを開いてきました。各団体と協力し叡智を出して伴地域のまちづくりに寄与したいと思います。
(原田照美理事長)

協同労働団体アグリアシストとも

農業の困り事、高齢者・一人住まいの方の困り事を支援します。わがまち農業応援団としてミニ講座「野菜づくりカフェ」も企画。豊かな自然環境を守り、農のある暮らしを楽しんでもらいます。
(西本正憲代表)

ジュニアのつす

火山館に常設

沼田総合庁舎「火山館」の交流スペースに伴地区民児協運営の「どうぞのいす」が登場しました。香山美子さんの絵本にある善意のリレーの新企画です。家庭で不要になった品物を持ってきて机の上に陳列。欲しい人が持ち帰ります。食器や本、文具、玩具、衣類、履物、小物家電、紙おむつなどいろいろ。再利用を巡る来場者の会話も楽しく広がります。



再利用へ 善意の交流

民生委員が見守り活動中に「誰かに使ってもらって」と高齢者に依頼された品も。宮本博子会長は「思いやりの心、優しい気持ちで地域につながれば」と願っています。

福祉の伴も一人一役みんなが主役 サロン復活 中井監督が登壇

伴社協の「いこいの家」サロンの講演会が一月十三日、春の甲子園出場の広陵高校野球部、中井哲之監督（副校長）を講師に迎えて沼田公民館で開かれまふした。



共感と呼んだ教育理念(1月13日・沼田公民館)

プロ野球選手も数多く育てた中井監督。金本、二岡、新井良；監督やコーチなど球界の指導者の厚みが、他の強豪校より断然勝っている点を披露しました。

その原点は「一人一役 全員主役」を掲げ、コーチや控え選手、家族を含めてみんなを大事にする野球部の教育。輝かしい成績や有名選手の輩出に増して「三年間、補欠を頑張りました」と社会に出た時、胸を張って言える子たちが「一番の自慢です」と中井監督は、親が子を見るように目を細めます。

大学生と同席スマホ教室

老人いこいの家サロンとして二月五日、シニア向けスマホ教室も開催。広島経済大の学生たち十五人を講師に迎え、参加者二十人が基本操作を学びました。スマホは出欠連絡など便利だが、使い方が分からないと何もできない。お年寄りの悩み解消に大学と連携して企画。参加者同士がLINEの友達になり、



シニアの悩み解消

交流する姿も見られました。学生と同席の教室が大変好評でした。

さわやかサロン200回

広陵地区のさわやかサロンが二月、二百回を迎え、下伴集会所で記念講演会を開催。講師の広陵高校野球部の中井哲之監督は「お年玉の時も、孫の目を見、声を掛けて渡してください」とお年寄り約五十人に語りかけていました。

「笑顔に会えば元気になれる」が合言葉。合唱や体操など行事進行の役割もお年寄りが分担し、みんなが主人公。運営委員会が地域から講師を発掘しています。

伴学区のサロンは七カ所、民生委員や福祉委員ら地元団体が

福祉委員会

コロナ禍等で全体としての活動ができない三年間。福祉委員三十七人の中には地域の様々な奉仕活動をされている方もおられます。エルモ設立を受けて他組織と協力を広げ、今までできなかった活動も取り組みたいと思います。

(部長 有馬義憲)



朝だ元気だ イチニーサン

みんなの善意銀行

住民参加の福祉の伴づくりを応援する善意銀行助成金。赤ちゃんからお年寄りまで住み良い地域を目指す団体活動に助成します。

令和五年度は団体育成費（九団体）、敬老会補助金（千七十三人該当）、新規支援団体補助金十九万五千円を支出。新規の内訳は、第一共進花好き仲間の花壇の花植え管理、広陵散歩を楽しむ会「美しい散歩道」の看板制作、伴学区ふるさと祭りと防災町民運動会。ふるさと祭り作業でけがをした体協スタッフに見舞金を出しました。



みんなの散歩道

設立四年間で地域福祉、町づくり、防災・災害支援の地域おこし関連の三分野で計十五件。総額は百万円を超えました。助成金の申請は年間を通じて呼び掛け、運営委員会が活動内

容等を審査します。

(事務局長 池田美代子)

ボランティアバンク「とも」

ひとり暮らし・高齢世帯のみなさんが、住み慣れた地で安心して暮らし続ける少しばかりのお手伝いです。令和五年度の作業件数は二十九件に上っています。

訪問作業の庭関連が草取り、草刈り六件、庭木の枝落とし、防草シート敷設各二件、花壇水やり一件で全体の約三分の一。防草シートの一件は協同労働団体紹介、花壇は依頼者が入院中の世話です。



地域で支える

続いて網戸の張り替え二件、倒れかけたフェンスの修理、灯油の廃油処理、大型ごみ運搬が各一件と多岐にわたっています。通院支援に一人の利用があり、支援者二人一組で計十二回付き添っています。

伴あんしんネット

一人暮らしのお年寄りや支援が必要な高齢者を近隣の協力が見守ります。高齢者登録者は現在三十三人。いつもの挨拶、さりげない声掛けで寄り添います。

地域包括支援センター内

伴あんしんネットの会
電話（八四九）五八六〇

みらいちゃんショップ



地域とつながる

障がい者作業所の自主製品販売店が毎月第一、三木曜の午前

児童福祉部会

十時半〜午後一時半、火山館交流スペースに開店。太田川学園、工房とも、ひだまりの家が野菜やクッキー、小物などを出品します。

地域の人が、障がいのある人と触れ合い、理解を深める場。店頭で女性会や福祉委員、準備や後片付けに社協や地域包括支援センターも手伝います。

(障がい者福祉部会部長 寿賀本正)

あいさつ運動を兼ねた夏休みのラジオ体操会は、十五町内会三十四会場で子ども九百八十七人、大人三百八十四人が参加しました。伴学区子ども会連合会の解散を受け、子どもたちと触れ合うスポーツイベントを十一月、伴小体育館で企画。音楽に合わせた運動などを親子二十人が楽しみました。

(部長 中本力夫)



地域で育てたい

近隣の顔が見える 伴のもやい結び



みんなの善意銀行

(敬称略)

★賛助会員

令和五年度登録された個人会員は166人、企業・団体は29団体です。匿名希望を除く会員の方を次の通りご報告します。ご協力ありがとうございました。

【個人】

伴晴英(広陵) 三十口▽稲葉憲治(三城田) 二十五口▽伊藤仁、川本一之、荒植正隆(以上三城田) 大迫妙子(奥畑) 山手万知子(広陵) 以上十口▽伊藤理恵子、程兼実、新見ヨシコ(以上三城田) 五十口▽山口猛(上伴) 西田雅行(伴中央) 伊藤昌志、伊藤祥子(以上三城田) 加藤栄治(ライオンズマンション) 秋野征治(雲願寺) 以上三口▽西正義(上伴) 中村春男、中富義晴(以上伴中央) 井上秀之、新川定男、新川竹子、山本瑞恵、堂本葉子(以上三城田) 森本貞江(大原) 藤岡泰夫(G大原) 以上二口
山田初則、大下義隆、中植義行、矢川正夫、佐川壽明、長尾繁、大迫良久、引地喜八、西田富雄(奥畑) 庄原和志、上

田安信、井林洋子、森田義文、木村恵子、越智健二(上伴) 井山美隆、森川信枝、上垣内保之、井上弘之、上杉忠彦、西本睦枝、川原裕行(伴中央) 榎敬公、榎浩子、香川光治、川本悦子、川本睦子、高島良彦、高島明美、上野昭司、上野妙子、国光克恵、岡田美代子、折出裕治、福馬完一、伊藤清、上野修平、上野由香利、中村豊子、田所和子、藤井一志、宮本武彦、大迫隆司、新川豪、中田正則、山科和子、伊藤宣子、藤井賢治、河野郁子、安平真枝、沖田導子、三浦峰子、山本瑞恵、谷口榮子、伊藤博、川崎陽子、松田弘、藤井良治、川原秀之、池野弘明、權代正二、大塚光子、沖田幸枝、向井和子、森政行、佐々木博行、稲葉佐治子、上野悦子、上野信明、川原幹生、船越春夫、元木仁志、中谷秀行、永間義昭、向田昌樹、岩井拓江、佐々木征樹、藤原澄恵、田村京子、大田信明、船越裕子、宮本節子、中田春男、三浦三末、中西康浩(三城田) 有馬義憲、有馬美枝子、木本真治、土居實雄、小林織恵、土居由佳(大原) 池田美代子、塚本一、池田一清、三谷章蔵、塚本直子(G大原) 砂子裕子(ライオンズマンション) 札幌静行、住吉敏則(雲願寺) 原田悦至、原田佳代子、三好剛(細坂) 山口哲夫、横更博文、横更十三枝、円山文雄、円山エリ子、伊達常

夫、高樋克之、高樋早苗、山田道信、土井弘行(広陵) 東藤一基、東藤晴美(寿団地) 中本力夫(若葉台) 以上一口
学区外にお住まいのみなさん 西谷崇 五十口▽清水八重子、中井利彦、澤井雅子、脇岡勝昭、廣野初枝、寿賀本正 以上一口

【企業・団体】

㈱日殖建設 十口
メリイハウス西風新都 五十口
社会福祉法人ぐるぐる 安芸葬祭 以上三口
社会福祉法人三矢会太田川学園 二口
中国トクデン ㈱ 宮本プロパン 学校法人広陵学園 日比野病院 ㈱ アイ・エンジ 専念寺 ㈱ 松浦住宅 ㈱ サンテック 廣島舗材 ㈱ 岡崎神社 末川doo造園 耳鼻咽喉科 にもと医院 ㈱ サンエイ美工 ㈱ 広島美建 ほうでい亭伴店 J A 広島市伴支店 太平電業 三栄パブリックサービス ㈱ ばり嗎沼田店 ㈱ クリエイティブ・ライフ 引地ブドウ園 ㈱ ビカピカランド 178 ㍻ ㍻ ㍻ 縁 大日堂 ㈱ 浄土苑 以上二口

▼香典返しにかえて

(令和五年十二月〜六年三月)
町内会 寄付者御芳名 死没者名
伴中央 西本 憲 司 晴 夫

▼一般寄付者

◎: 大原の若林和枝さんが十二月、二千元を寄付。

(敬称略)

おめでとございませう

安佐南区社会福祉協議会会長表彰

伴社協 圓山文雄 (敬称略)

大型テレビ設置

沼田老人いこいの家は十二月、大集会室にモニター機能を備えた大型テレビを設置しました。広島市の助成金三十五万円を活用して購入。72型、インターネット接続もできます。他会場と結び同時モニターも可能。一月、沼田公民館で開いた「いこいの家サロン」講演会も大型テレビで視聴できました。写真。老人いこいの家は土砂災害等の自主避難所です。災害情報の入手などでも役立てます。(会計 塚本 一)



計報 川本一之副会長が二月二十日に亡くなられました。みんなの善意銀行の立ち上げなど地域の福祉向上に尽くされました。謹んで哀悼の意を表します。